

令和4年(2022年)度 地域連携活動報告書

連携先名称：大分県竹田市

協定締結日：平成30年(2018年)8月30日

活動状況：継続中

連携先窓口：竹田市役所農政課

活動資金：大学予算

担当教員(所属)：山田崇裕(アグリビジネス学科)

活動体制(単位)：学科

関連教員(所属)：木原高治(アグリビジネス学科)

活動目的：

包括的な連携のもと地域の産業、環境保全並びに教育・研究の充実のため、産業振興、地域づくり等の分野において相互に協力することを目的とする。

人材育成に関する活動では、「バイオビジネス実地研修(必修科目)」を通じた農大生と地域住民、優良農業経営者、地元高校の教育交流活動を推進する。

活動内容・成果：

本連携活動の要となる「バイオビジネス実地研修(必修科目)」は、2019年度より3年ぶりに実施することができた。参加学生数は13名である。2022年度研修では、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、スケジュールを以前の7泊8日から5泊6日に短縮し、地域の宿泊施設を利用しつつ合同形式の研修を実施した(研修期間：令和4年度8月24日～8月29日)。一方、竹田市役所農政課と同市観光ツーリズム協会の協力により、地域の特産農産物の収穫・選定、鳥獣対策としての電気柵の設置、歴史・伝統文化の学習に参加した。また、県立久住高原農業高校の先生方には、同校ほ場での実習を指導いただいた。このように、学生達は6日間の研修において、竹田市の農林業および地域の歴史・文化の特徴を網羅的に学ぶことができた(実習内容は別紙のとおり)。

課題・改善点：

これまで教育活動を連携事業の中心に実施してきたが、実態として本学学生と引率教員が竹田市関係者に全般的にお世話になる構図となっている。本学から竹田市への貢献として、本学教員、市役所、市内実務者の連携による地域農業の振興や農業経営の成長に資する研究活動を実施することが必要と考えている。



写真1 研修受入れ式



写真2 電気柵に関する講義



写真3 久住高原農業高校における実習



写真4 ワレモコウの選花



写真5 カボスの収穫



写真6 地域文化の学習



写真7 研修修了式



写真8 竹田市長との記念撮影

令和4年度 東京農業大学 国際バイオビジネス学科 竹田市実地研修

8月		時間	研修先	集合場所・集合時間・食事場所・迎え	備考
24日	水	15:00	受入れ式；萩の里温泉15:00	到着予定：14:40	
25日	木	9:00～16:00	(農) 紫草の里営農組合9:00～16:00 電気柵チェック等	集合場所：紫草の里営農組合事務所9:00 (竹田市大字志土知919番地5) 食事場所：紫草の里営農組合事務所12:00 迎 え：紫草の里営農組合事務所16:00	紫草の里営農組合 事務局志水さん 農作業は屋外とします 雨の場合カッパ、長靴必須
26日	金	9:30～16:30	午前 久住高原農業高校 9:30～11:30 花・野菜・ドローン 移動 山田先生(7人)市公用車(6人) 午後 (農)ふるさと白丹13:00～16:30 われもこう選花	集合場所：久住高原農業高校9:30 (竹田市久住町大字栢木5801番地-32) 食事場所：白丹町公民館12:00 迎 え：白丹町公民館16:30 (竹田市久住町大字白丹1190)	久住高原農業高校 田尻農場主任 雨の場合カッパ、長靴必須 ふるさと白丹 代表須藤さん
27日	土	9:30～16:00	午前 ぶどう(6名)・カボス(7名)作業 森農園・佐藤農園9:30～11:30 移動 山田先生(7人)市公用車(6人) 午後 歴文館、岡城跡13:30～16:00	集合場所：やまなみ福祉会前(飛田川)9:30 (竹田市飛田川2683) 食事場所：花水月12:00 迎 え：岡城址駐車場16:00 (竹田市竹田2761)	ぶどうとカボスそれぞれ大学で人選ください。 長そでと手袋必要。雨の場合カッパ、長靴必須。 岡城跡、歴文館 無料
28日	日	9:00～16:30	竹楽作業 里山保全竹活用百人会 9:00～16:30 竹仕分作業等	集合場所：TSG(旧竹田中学校) 9:00 (竹田市植木731) 食事場所：TSG(旧竹田中学校) 12:00 迎 え：TSG(旧竹田中学校) 16:30	百人会事務局 ツーリズム協会藤野さん63-2638 作業体育館等
29日	月	10:00	終了式：市役所2階庁議室10:00	集合場所：竹田市役所9:40 (竹田市会々1650)	